

3. 大腸がん

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん ※別紙4に入力した内容が反映されています。 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日								各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		内視鏡的治療		化学療法	放射線療法		光線力学療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容			
				開腹手術	腹腔鏡下手術	EMR	ESD		体外照射	小線源治療				治療内容	治療実績	医師の専門分野	
1	外科	11	3	状況	○	○		○	○			大腸癌手術の約90%は腹腔鏡補助下に行っており、創も約5cmと小さく低侵襲で、早期退院が可能です。進行大腸癌に対しても腹腔鏡下手術で十分なリンパ郭清を伴う根治手術が可能で、積極的に行っています。	ア	一般外科 http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/geka/	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり		あり	あり					イ	http://			
2	消化器内科	17	6	状況			○	○	○			早期大腸癌に対して内視鏡治療を積極的に行っております。また、外科(開腹・腹腔鏡)手術のできない進行大腸癌に対しては、化学療法を行っております。化学療法は、可能な限り、外来にて行うようにしています。また、QOLの改善のため、狭窄症状を呈する場合に内視鏡的ステント留置術を行っております。	ア	消化器内科 http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/shoukaki/	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績			あり	あり	あり					イ	http://			
3	放射線治療科	2	2	状況						○	×	手術と匹敵する治療成績が期待できる疾患群には、臓器の機能を温存しつつ根治的照射を行っております。その他準根治照射や予防照射、癌による種々の苦痛を取り除くための緩和的放射線治療にも積極的に取り組んでいます。	ア	放射線治療科 http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/housha-t/index.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績						あり	なし			イ	http://			
4				状況									ア	http://			
				実績									イ	http://			
5				状況									ア	http://			
				実績									イ	http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

例: 結腸がん、直腸がん、肛門管がん

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日

結腸がん、直腸がん